代理店用

代理店向け　サイバーセキュリティニュース

ランサムウェア感染被害多発！　脆弱性管理、できていますか？

SOMPO

✓代理店におけるランサムウェア感染被害の報告が後を絶ちません。すべての事案でVPNへの不正アクセスが侵入経路となっています。脆弱性の適切な管理に努めていただくようお願いします！

1．脆弱性とは

脆弱性とは、システムや機器に存在するセキュリティ上の弱点や欠陥のことです。また、IPA※が発表する情報セキュリティ10大脅威2025の第3位にも選ばれています。代理店内でネットワークを構築したりサーバを運用する場合、PCのセキュリティだけでなく、ネットワークやサーバを含めたIT資産全体の適切な脆弱性管理と対策が重要です。　※独立行政法人情報処理推進機構

攻撃者は脆弱性の探索活動を通じて、侵入が容易なターゲットを探しています！

★脆弱性管理のポイント★

既製のソフトウエア等の場合：バージョンやパッチの適用状況を管理した上で、公表される脆弱性情報を継続的に把握し、最新パッチの適用について判断します。特に重要な脆弱性情報の場合は、速やかに対応する態勢を整備します。

独自に開発・構築したシステムの場合：設計・開発段階で未然に脆弱性を解消した上で、定期的に（システム改修時には必ず）脆弱性診断を実施します。

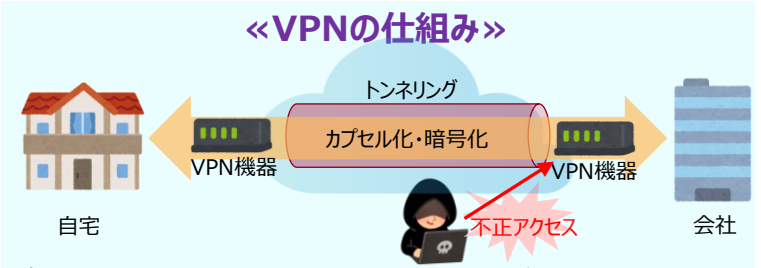
2．VPN （Virtual Private Network）機器の脆弱性管理

VPNとは、インターネット上に暗号化された仮想の専用回線を構築し、安全にデータを送受信できる技術です。これにより、社外から社内ネットワークへ安全にアクセスすることができます。一方、**当社委託代理店で多発しているランサムウェア感染被害事案のすべてにおいて、VPNアクセスが侵入経路となっています。**被害防止のためには、**VPN機器の適切な運用・管理が大変重要です。**

★VPN機器の脆弱性管理のポイント★

VPNを利用している場合は、不正アクセス被害防止のため、必ず以下の対策をお願いします。

- ✓ VPN機器の**脆弱性の情報収集**を行い、**パッチ適用**等の対応を適切に実施・ルール化する。（深刻度が『緊急(Critical)』の修正パッチが出ている場合、至急対応をお願いします！）
- ✓ VPN機器の認証に、**多要素認証(クライアント証明書、ワンタイムパスワード等)を実装**する。



自宅や外出先からも、社内のネットワークやサーバに接続できるため、テレワークの拡大とともにVPNの利用が急速に普及しましたが、同時に、VPN機器の脆弱性を悪用したサイバー攻撃（不正アクセス）被害が多発しています。

代理店用

代理店向け　サイバーセキュリティニュース

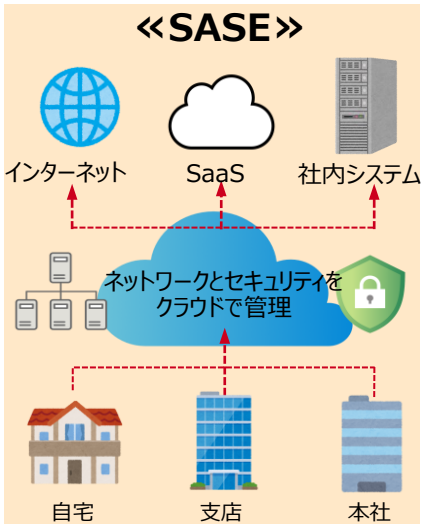
ランサムウェア感染被害多発！　脆弱性管理、できていますか？

3．SASE（Secure Access Service Edge：サッシー）の導入

SASEとは、ネットワークとセキュリティをクラウド上で一元管理する仕組みです。VPNやファイアウォール等各ネットワーク・セキュリティ機器の煩雑な管理を一元化し、セキュリティ管理を容易かつ強化することが可能です。「ゼロトラスト」※を実現しつつ煩雑な管理から脱却してSASEを導入する企業も増えています。セキュリティ強化策の一つとして検討ください。

※社内外のネットワークをすべて信用しないことを前提にして、セキュリティレベルを向上させる概念

＊実際の導入の検討に際しては、セキュリティベンダーとご相談いただくようお願いいたします。



代理店のみなさまへのおねがい

万が一サイバー攻撃（おそれを含む）※を受けた場合、被害の拡大防止・お客さまの情報を守るため、**速やかに**当社担当者へご連絡をお願いいたします！**損保ジャパンのお取り扱いがある場合でも、必ず当社へご連絡をお願いいたします！**

※ランサムウエア等のウイルス感染、不正アクセスによる被害のほか、サポート詐欺、フィッシングサイトによるID・パスワード等の詐取被害等も含みます。
サイバー攻撃による個人情報漏えい（おそれも含む）は、当局報告の対象になります。

eラーニングの動画もぜひ視聴ください！

サイバーセキュリティニュース　バックナンバーも活用ください！

ひまわり掲示板＞コンプライアンス・業務品質＞学習・研修＞**【サイバーセキュリティニュース】クラウドサービス利用時の注意**
ひまわり掲示板＞コンプライアンス・業務品質＞学習・研修＞**【サイバーセキュリティニュース】サポート詐欺にご注意ください！**